

## PRESS RELEASE

平成 20 年 4 月 11 日

### 『スカルプチャー・イン・ザ・パークランド』 屋外で大規模環境彫刻の造形過程を一般公開

アイルランドのオフアリー県ボーラ湖（ロック・ブーラ）パークランド内「スカルプチャー・イン・ザ・パークランド」にて、本年 5 月 26 日から 6 月 14 日の 3 週間に渡り、アイルランド系アメリカ人環境芸術家、パトリック・ドハティー氏による作品の創作、設置作業が行われます。作品創作中の 3 週間は一般の見学も可能で、作業はクラフト・カウンシル・オブ・アイルランド協力のもと数名のアシスタントを伴い行われます。

今回の作品では総重量 10 トンにもおよぶ地域で育ったヤナギの若木を使い、ねじったり、織ったり、絡めたりすることによりラウンドタワーのようなモニュメントを創作していきます。ドハティー氏は過去 20 年もの間このような大規模環境彫刻活動をしており、その作品は世界各地で高い評価を獲得しています。

アイルランド島のおへそともいえる、オフアリー県ボーラ湖パークランドにある「スカルプチャー・イン・ザ・パークランド」は 2002 年の世界彫刻シンポジウムをきっかけに、7 名の芸術家の作品展示から始まりました。現在では常設展示として、ドハティー氏の作品の他、15 名もの国内外からの環境芸術家たちによるの大規模な作品がパーク内に展示、一年を通じて一般公開されています。日本人芸術家、関直子さんの作品も展示されています。

ボーラ湖パークランドは天然資源である泥炭地（bogland）としても貴重な場所で、6 月 9 日からは第 13 回世界泥炭会議も開催されます。今回のドハティー氏の作品は会議中のアートイベントの一環プロジェクトにもなっています。また、パークランド内は車イスでのアクセスも可能で、ビジターセンターではボーラ湖の歴史とともに中石器時代の動植物、工業用泥炭収穫の様子などを鑑賞できます。

スカルプチャー・イン・ザ・パークランド（英語表記）：[www.sculptureintheparklands.com](http://www.sculptureintheparklands.com)

パトリック・ドハティー（英語表記）：[www.stickwork.net](http://www.stickwork.net)

世界泥炭会議（英語表記）：[www.ipcireland2008.com](http://www.ipcireland2008.com)

～ 当リリースに関するお問い合わせ先 ～

アイルランド政府観光庁 日本事務所 担当: 岡田

TEL: 03-5367-6525 / FAX: 03-5363-1118

E-mail: [Ireland.japan@aviareps.com](mailto:Ireland.japan@aviareps.com) URL: <http://www.discoverireland.jp>